

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年1月22日(金)発行

【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

# 手をたずさえて

## 新型コロナウイルスに関連した偏見・差別等について考える

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大に伴い、本県・本市は2月7日までを緊急対策期間とし、学校では感染リスクの高い活動を控えるとともに、感染症対策の更なる徹底・強化を図っているところです。14日の帰りの学活の放送でも触れましたが、今回、新型コロナウイルス感染症に関連したいじめや偏見・差別についてみんなで考えていきたいと思えます。東京都教育委員会が作成したマンガ教材「まるでウイルスみたいに」を掲載しました。文とマンガの両方を読み進めてください。

今、コロナ禍の中本当に大変な思いをしている人達がたくさんいます。医療従事者もその中の人達です。12月にテレビで放送された第3波の中での医療現場の姿です。

看護師になって3年目のAさんは、集中治療室で重症者の治療にあたっています。感染を防ぐため、医療用のマスクやガウンなど特殊な装備を身に着けます。全身を覆われた状態で5時間以上働くこともあるそうです。

Aさん「忙しいとなかなか外に出られないので。おむつをつけて入っている先輩とかもいますね。」

Aさんは感染のリスクを減らすため、人と極力接触しないように気をつけています。食事はコンビニなどの弁当がほとんどです。家族とも会わず、ホテルで寝泊まりしています。こうした生活を続けて10か月。疲労やストレスがたまっています。

Aさん「ほんと、あしたから突然来ない、来れなくなる時がくるんじゃないかと思うんですけど。自分の体と心が折れたら終わりって思いながら働いています。」



この話は12月のもので、今は「医療現場のひっ迫」「医療崩壊」という言葉が連日聞かれるように、医療現場は更に厳しい状況になっていると考えられます。きっと我々が考えている以上に想像をはるかに超える過酷な現場であると思えます。極限状態の中で、日々命に向き合っている医療従事者など、社会を支えている職業の方々に対して、敬意と感謝の気持ちを持つことが大切であるということ、このことは多くの人々は頭では理解していると思えます。しかしながら、本来リスペクトされるべき医療従事者の方々やその家族に向けられる“差別や偏見の目”があるというのも事実です。

◆裏面に続きます！



本来、敬意と感謝の気持ちを持たなければならぬ医療従事者やその家族に対する偏見・差別の一例です。  
 次は、先週放送で話した内容です。

この話は、この後どんな展開になると思われますか？

県の代表として春高バレーに出場した郡山女子大学附属高校バレー部の中にコロナの感染者が出たという報道がありました。郡山に戻り、健康観察期間として自宅待機中に判明したため、他の生徒等との接触はなかったとのこと。また、部員たちは感染症対策にも最善を尽くしていたとのこと。

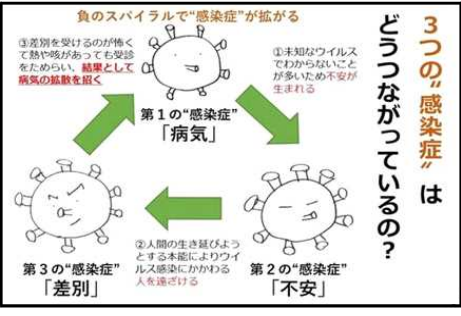
昨年3月には同系列の郡山女子大学でコロナの感染者が出たことにより、大学関係者らへの嫌がらせや不当な扱いが多数あり、問題視されました。部活で通学した附属高校の生徒が「コロナ、コロナ」などと指をさされたり、教職員の子どもが保育所への預かりを拒否されたりしました。大学には電話による嫌がらせ等が100件以上あったそうです。このような“心ない言動”が身近な所で起きていたということ、残念で心が痛みます。

附属高校の佐々木校長先生が次のようなコメントを出されました。「生徒はコロナ禍の中でも努力を重ね、全国大会で全力を尽くして戦ってきた。そんな生徒達を誇りに思う。まずは回復して、前に進めるようにバックアップしていきたい」このコメントには、生徒やスタッフへのリスペクト（尊敬）の気持ちとともに、差別・偏見、中傷を絶対にしないでほしいというメッセージが込められています。

ここまでの文やマンガから、みんなは何を感じましたか？どんなことを考えましたか？

日本赤十字社は、新型コロナウイルスには3つの顔、いわゆる3つの“感染症”があるとして、この感染症の怖さは、「病気」が「不安」を呼び、「不安」が「差別」を生み、「差別」が更なる「病気」の拡散につながるとしています。負のスパイラル（悪循環が連鎖すること）で“感染症”が広がっていきます。

次の視点について、まずは自分の考えをまとめてみよう。さらに学級で意見交流をしてみよう！



- 視点①** マンガ「まるでウイルスみたいに」について、この後どのような展開になっていくのか。
- 視点②** コロナにかかわる差別・偏見等はしてはいけないことであると理解していても、もしも、自分の近くに医療従事者がいたり、感染者が出たりした時、自分自身はどんな思いを抱くのか、どんな言動をとるのだろうか。
- 視点③** 3つの感染症の負のスパイラルを断ち切るため、今できることは。

